

それぞれの「アラブの春」キーワード集

カート Khat — 『気乗りのしない革命家』で、主人公のカイスが草の葉を口一杯にはおぼっている。東アフリカやアラビア半島原産のカートという覚醒作用のある植物で、イエメンでは、酒やタバコに代わる嗜好品として社交の場で愛用されている。イエメンでは、外貨獲得のための重要な輸出品でもあるらしい。

ブルギバ通り Avenue Bourguiba — チュニジアの首都チュニスの目抜き通り。フランスからの独立運動を率い、初代大統領となったハبيب・ベン・アリー・ブルギーバの名を冠したこの通りは、「アラブの春」の舞台となり、結果として、第2代大統領ベン・アリーの23年にわたる長期政権が崩壊した。

ニカーブ Niqab — イスラム圏の女性が目の周辺以外の頭部を覆うヴェールの一種。イスラム系移民の多いヨーロッパでは、政教分離の観点から、公共の場での着用を禁止している国もある。『悪意なき闘い』では、革命後のチュニジアの大学で、イスラム主義を掲げる学生が、学内でニカーブを被る権利を主張し騒動となっている様子が描かれている。

構成＝加藤初代
（それぞれの「アラブの春」コーディネーター）